第９回日展

第３科（彫刻）　特選授賞理由

題名　　作者名

ウクライナ 今 私にできることは　池端英次

授賞理由

悲しげな眼差しの少女と、心なしか足を伸ばすように遠くを見つめる犬。少女が挙げた手が二体の空間を絶妙につなげるよう構成されている。社会情勢をモチーフに堅実な彫刻表現で作者の内面が現れた力作である。

秋に想う　岩谷誠久

授賞理由

繊細な内面を柔らかで伸びやかな動きで表現し、細部までよく観察された細やかな表現が評価された秀作である。

ルームウェア　酒井　華

授賞理由

ゆったりとしたルームウエアを身に着けて、緊張から解放された瞬間を表わした作品からは、日常に忙殺される現代人を癒したいという思いも伝わってくる。柔らかいクッションや衣服の質感表現などの優れた技術が評価された。

三夏の湖　志萱州朗

授賞理由

湖畔の夏の爽やかな情景を、伸びやかな動勢と確かな造形力で表現した秀作である。

題名　　作者名

歩を進めて　田中宏典

授賞理由

静かに目を閉じゆっくりと深呼吸をしているような表情からは、女性の姿を越えて人間の存在について考えさせられる作品である。自然と人間の共存、この先の未来を信じて歩む人間の力強さを象徴的に表現している。

流露　永江智尚

授賞理由

女性が丸くうずくまり一つの塊として表現されている。細身の体躯ながら重量感があり、力強い量塊の構成が優れた作品である。人物の内面性の表出にも挑戦した作品と言える。

夢見る人　宮地淑江

授賞理由

シンプルな立ち姿からは、夢を見ているような情景が伝わってくる。やや下向きながら、強い目線からしっかりとした意思も感じられ、石膏の素材感を生かした柔らかな色で見事に仕上げた秀作である。